

平成29年度進行管理・評価シート
鶴岡市歴史的風致維持向上計画（平成25年11月22日認定）
（最終変更平成29年3月24日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 計画の円滑な推進	1
------------	-------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 既存の制度・計画における景観形成推進	2
----------------------	-------	---

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業	4
2 市指定有形文化財大宝館整備事業	5
3 三日町口通り修景事業	6
4 鶴岡公園内堀周辺道路修景事業	7
5 散策・休憩施設整備事業	8
6 門前町歴史まちづくり活動支援事業	9
7 宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業	10
8 宿坊街道路・空き地修景整備事業	11
9 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業	12
10 松ヶ岡振興支援事業	13
11 史跡内及び周辺修景整備事業	14
12 蚕室群活用整備事業	15
13 シルクタウンプロジェクト推進事業	16
14 民俗芸能保存伝承支援事業	17
15 歴史まちづくり人材育成事業	18
16 鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業	19
17 歴史的風致形成建造物保存活用整備補助事業	20
18 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟(建造物)防災施設等整備事業	21

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 文化財の保存・活用の現状と今後の方針及び具体的な計画	22
2 文化財の修理(整備を含む)に関する方針及び具体的な計画	23
3 文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針及び具体的な計画	24
4 文化財の周辺環境の保全に関する方針及び具体的な計画	25
5 文化財の防災等に関する方針及び具体的な計画	26
6 文化財の保存・活用の普及及び啓発に関する方針及び具体的な計画	27
7 埋蔵文化財の取り扱いに関する方針及び具体的な計画	28
8 文化財の保存・活用に関する教育委員会の体制と今後の方針	29
9 市民・NPO法人等各種団体の状況及び今後の体制整備の方針	30

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

1 クラフト展にマルシェ 体験イベントも多彩に 鶴岡「松ヶ岡桜まつり」	31
-------------------------------------	-------	----

⑥その他(様式1-6)

1 歴史的風致維持向上計画事業実施の効果	32
2 歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応	33

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	34
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
計画の円滑な推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 ○計画の進捗管理・評価、計画推進に係る事項・計画変更の協議は鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会を中心に行う。
 ○建設部都市計画課、教育委員会社会教育課、羽黒庁舎総務企画課及び企画部政策企画課を事務局とし、連絡調整を行い計画の円滑な推進に努める。
 ○必要に応じて鶴岡市文化財保護審議会及び鶴岡市景観審議会などに計画の実施状況を報告し意見を求める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域が3地区(鶴岡公園とその周辺地区、羽黒手向地区、羽黒松ヶ岡地区)ある本市では、それぞれの地域において整備や振興を支援する担当課(鶴岡公園とその周辺地区:建設部都市計画課、羽黒手向地区:羽黒庁舎総務企画課、羽黒松ヶ岡地区:企画部政策企画課)と文化財事業を所管する教育委員会社会教育課が連携し、3地区で持ち回りのシンポジウムの開催を行うなど計画の進行管理と歴史的まちづくりを通じた本市の魅力増進につとめている。連携に基づく会議等の開催は、平成29年7月12日、同30年2月1日に2回の事務局担当課長会議を開催したほか、30年2月21日に副市長をトップとする庁内関係部課長による庁内策定会議、同3月12日には鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(法定協議会)を開催しているほか、都度事務担当者の打合せを実施しながら計画の円滑な進行管理を図っている。

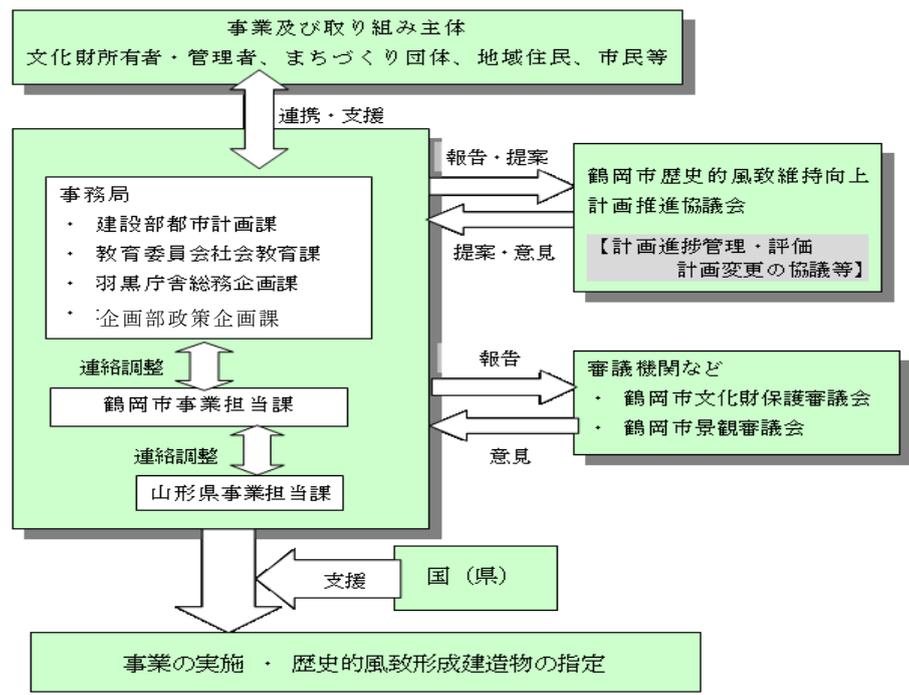
進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

- 事務局担当課長会議①(平成29年7月12日)
 ①平成29年度各担当の事業進捗状況と課題について
 ②平成30年度社総交(まち環)事業概算要望について
 ③平成30年度以降の社総交(まち環)事業計画について
 ④歴史的景観都市協議会総会(全国大会)の開催について
 ⑤歴まちDAY`sの実施方法について
- 事務局担当課長会議②(平成30年2月1日)
 ①平成30年度事業予算について
 ②鶴岡市歴史的風致維持向上計画の進捗評価について
 ③鶴岡市歴史的風致維持向上計画の一部変更について

- 平成29年度庁内策定会議(平成30年2月21日)(仮)
 ①鶴岡市歴史的風致維持向上計画の進捗評価について
 ②鶴岡市歴史的風致維持向上計画の一部変更について
- 平成29年度鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(平成30年3月12日)(仮)
 ①鶴岡市歴史的風致維持向上計画の進捗評価について
 ②鶴岡市歴史的風致維持向上計画の一部変更について
 ③鶴岡市サイン計画の策定について(意見聴取)



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
重点区域における都市計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- 都市計画高度地区による建築物の高さ制限
- 用途地域の設定
- 市街化調整区域の設定

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

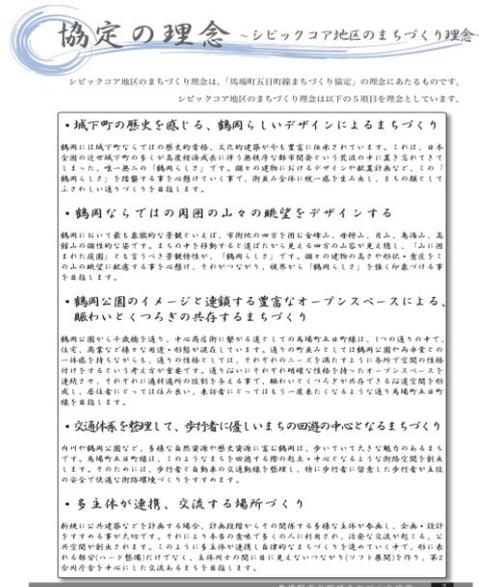
平成16年度に当初決定された都市計画高度地区では、歴まち計画区域内とほぼ同一の区域を歴史文化ゾーンと位置付け、ゾーン内は住宅系用途(一低専除く)、業務系用途に関わらず、建築物の高さを第一種高度地区として15mまでに制限している。

高度地区において、許可による特例が適用される建築物は「公益上やむを得ないと認められ、かつ周囲の状況により市街地環境上支障ないと認められるもの」としており、これまで歴まち計画区域内に4件(文化会館、商工会議所、医師公舎、荘内銀行本店)の建築物を許可してきた。しかし、市民、事業者等が高度地区による高さの最高限度を超える建築物の建築を計画するにあたり、その適用の可否が明確でないとの声があることから、平成28年度にこれを「公共施設、公益施設、立地することにより市街地の都市機能が高まるとともに市民の利便性が高まる施設等」とし、適用される建築物の明確化を図る変更を行った。

平成29年度に、鶴岡らしい都市景観の保全を目的とし、景観形成に大きく影響を与える建築物の建築に際して事業者の基本構想段階から鶴岡市の景観に関する方針等を反映するために、技術的指導を行う協議体として「鶴岡市コミュニティアーキテクト」を設置した。29年度は馬場町五日町線まちづくり協議会とともに馬場町五日町線まちづくり協定の協定締結範囲内における鶴岡第2地方合同庁舎の建設及び鶴岡信用金庫本店営業部の建替えに関して、鶴岡らしい「城下町らしさ」に配慮するように等の協定の理念に合致するよう協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



山形新聞 平成30年1月17日付

馬場町五日町線まちづくり協定

評価軸②-2 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<input type="checkbox"/> 景観計画地域別方針との適合 <input type="checkbox"/> 大規模建築物等の景観に関する制限		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成20年5月に策定した「鶴岡市景観計画」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を実施した。 ・平成29年度には、景観計画区域内における大規模建築行為について市全域で50件(平成29年12月28日現在)の届出を受付、良好な景観形成のために意匠や色彩に関する指導を実施した。 ・その内重点区域内の届出は2件であり、重点地区内の良好な景観形成に資するものとなった。 ・歴史的資源を活用した魅力あるまちづくりを進めることで地域の誇りを高めるとともに来街者の増加を図ることを目的とし、3つの重点区域を対象とし鶴岡市景観計画を上位に位置づける鶴岡市歴史的風致景観連携計画を策定した。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>平成29年度における大規模建築物の届出</p> <p>景観計画区域内における行為の届出 届出件数 50件(平成29年12月28日現在) 届出行為地域別内訳 鶴岡32件、藤島4件、羽黒6件、櫛引6件、朝日0件、温海2件 届出対象物内訳 建築物43件、工作物7件、両方0件</p> <p>内、重点地区内の届出については以下のとおり。</p> <p>① 羽黒手向地区 : 羽黒町手向字薬師沢地内 建築物の新築 1件 羽黒高等学校 ② 羽黒手向地区 : 羽黒町手向字薬師沢地内 建築物の増築 1件 特別養護老人ホームかみじ荘</p> </div>			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業 【鶴岡公園とその周辺地区】	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成29年度

支援事業名 重要文化財(建造物・美術工芸品)修理、防災事業費国庫補助

計画に記載している内容 経年劣化により傷みが激しい旧鶴岡警察署庁舎について、解体し補修後にまた組み立て直す根本修理を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

工事が順調に進んだため、次年度に予定していた工事を繰り上げ実施することとし、平成30年6月まで予定していた工期を6ヶ月短縮した。平成29年度は左官工事、建具工事、塗装工事を中心に進め、11月に素屋根と外部足場の解体が完了、12月に全ての工事が完了した。あわせて事業期間も6ヶ月短縮し、平成29年度で修理工事報告書の発行を含めた全ての事業が完了する。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



外観(施工前)



内部(施工前)



仮設工事 素屋根解体(施工中)



左官工事 大壁斑直し(施工中)



外観(竣工写真)



内部(竣工写真)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
市指定有形文化財大宝館整備事業 【鶴岡公園とその周辺地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年～平成30年
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容	市指定有形文化財大宝館の修繕として、外壁塗装・木製建具改修・瓦屋根全面改修・ドーム補修及び塗装を実施する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度の整備工事に向け、平成29年度はデジタルデータを作成し実施設計を行った。内外壁や屋根の破損等、補修・修繕箇所を調査し明らかにした。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等



大宝館外景



バルコニー破損箇所



天井部破損箇所



内壁破損箇所



屋根裏破損箇所



雨樋破損箇所

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
三日町口通り修景事業 (市道荘内神社前大東町線歩行者回遊空間整備事業) 【鶴岡公園とその周辺地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度 ～ 平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 ワークショップや関係団体等との意見交換を実施し、鶴ヶ岡城の大手門通りであった市道荘内神社前大東町線の修景整備について、整備のあり方を検討する。検討内容を踏まえた修景整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

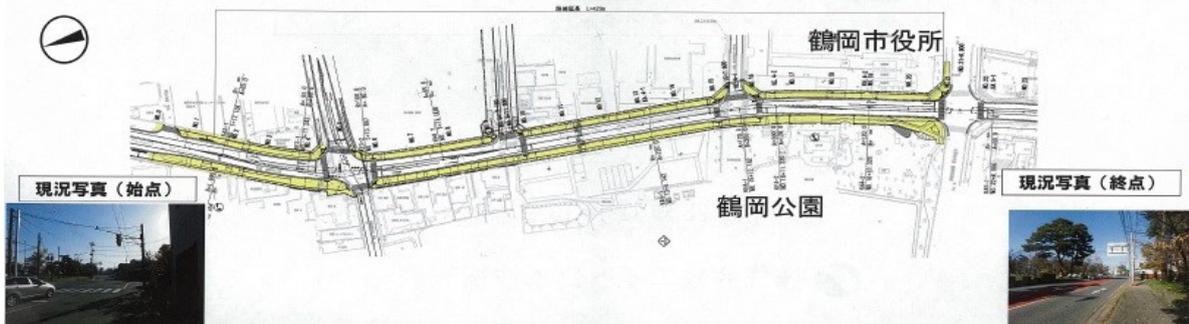
平成27年度に5回にわたって市道荘内神社前大東町線(L=280m)の修景整備に関するワークショップを開催し、実際に通りを歩いてのフィールドワークや、通りの1/100の模型を用いた作業を通じ、通りの課題とあるべき姿について参加者が共有し、通りの整備方針・デザイン方針を取りまとめた。
 28年度及び29年度は、鶴岡市都市計画道路道形黄金線(一般県道鶴岡村上線)の拡幅整備に合せた三日町口通りの修景整備の一体的な推進を行うため、県との調整を行っている。併せて、通りの歩行者回遊空間を確保し、歴史ある通りの景観に配慮した空間形成に向け、山形県無電柱化推進調整会議にて調整を行うなど、事業推進に向け取り組んでいる。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- ・県との打合せ
 - H28.6.24 鶴岡市都市計画道路3・6・1号道形黄金線(一般県道鶴岡村上線)事業に伴うスケジュールについて
 - H28.8.4 鶴岡市都市計画道路3・6・1号道形黄金線(一般県道鶴岡村上線)事業に伴う市役所倉庫等の物件調査について
 - H28.12.13 3・6・1号道形黄金線電線共同溝予備設計に伴う第1回合同調整会議
 - H29.4.24 鶴岡市街路整備事業に係る調整会議(3・6・1号道形黄金線の予定等)
- ・山形県無電柱化推進調整会議
 - H28.6.24 28年度第1回事務局会議
 - H28.10.7 28年度第2回事務局会議
 - H29.6.2 29年度第1回事務局会議



事業箇所図

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
鶴岡公園内堀周辺道路修景事業 (市道鶴岡公園新形町線歩行者空間整備事業) 【鶴岡公園とその周辺地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度 ~ 平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 ワークショップや関係団体等との意見交換を実施し、鶴ヶ岡城の内堀周辺道路である市道鶴岡公園新形町線の修景整備について、整備のあり方を検討する。検討内容を踏まえた修景整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度は鶴岡公園と掘端の公園周辺道路である市道鶴岡公園新形町線(L=500m)を中心に整備に関する鶴岡公園環境整備懇談会を開催し、実際に通りを歩いてのフィールドワークや、課題やあり方などについてグループ討議を行った。また、まちづくりワークショップでは公園周辺道路の複数案の整備イメージパネルを用いた作業を通じ参加者とあるべき姿について意見交換し、第2回の鶴岡公園環境整備懇談会において鶴岡公園周辺道路の整備方針・デザイン方針をまとめた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【平成29年度】

- 鶴岡公園周辺道路基本計画策定に係る検討
- ・第1回鶴岡公園環境整備懇談会(8月3日)
- ・まちづくりワークショップ(10月28日)
- ・第2回鶴岡公園環境整備懇談会(2月7日)



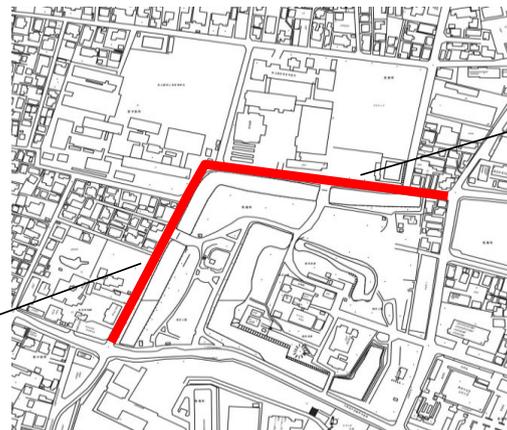
第1回鶴岡公園環境整備懇談会



まちづくりワークショップ



市道鶴岡公園前新形町線



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
散策・休憩施設整備事業 【鶴岡公園とその周辺地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度 ~ 平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的風致を形成する建造物や人々の活動、それらをつなぐルート上に、歴史資源情報や歴史まちづくりに関する情報、地元食材を使用した軽食等の提供が可能な休憩スペースの整備、歴史的景観に配慮した案内板・説明板設置について、関係団体等と連携し検討、整備する。

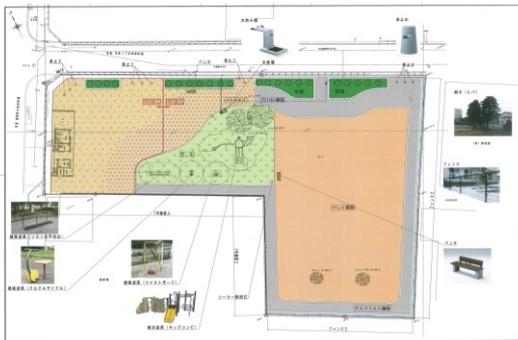
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・本町二丁目広場(仮称)整備は、公園西側の未整備エリアに公衆トイレを整備するとともに、多目的広場の舗装工事や公園照明灯の整備を実施した。
 ・多目的交流広場整備工事は、老朽化した市役所東庁舎解体後の跡地を利用し、散策・休憩する地域住民や観光客に向けた賑わいとくつろぎ、交流するための広場空間の一部と、駐車スペースや消雪設備、広場と駐車場の間仕切りとして花壇の設置工事を28年度に実施した。29年度は、多目的空間スペースのインターロッキングブロックの設置、花壇への植樹、ベンチや案内看板設置を実施した。
 ・三重点区域及び市内観光・公共施設を対象に、「鶴岡市歴史的風致重点地区サイン計画策定業務」を委託し、良好なサイン設置のためのガイドラインの策定及び具体的なサインのデザインと設置計画の策定を行った。

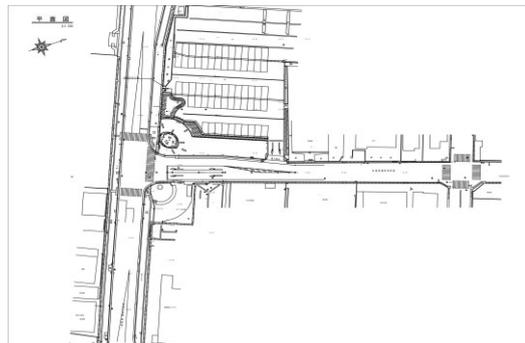
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

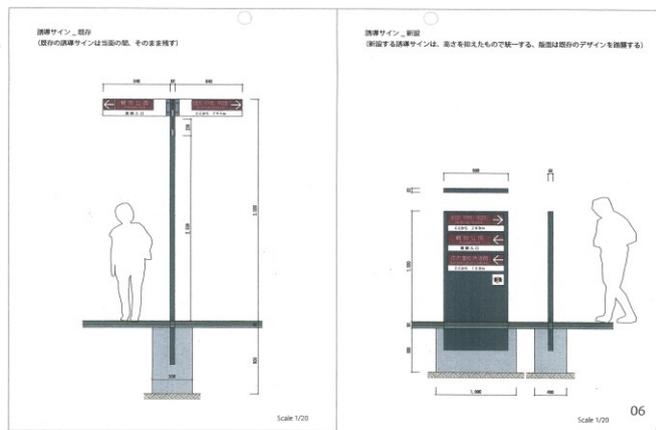
状況を示す写真や資料等



本町二丁目広場(仮称)整備



多目的交流広場整備



サイン計画

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
<p>門前町歴史まちづくり活動支援事業 【羽黒手向地区】</p>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 地元団体や住民から構成されている組織が事業主体となる事業を実施することで、地域全体の景観保全意識や気運が高まり、歴史的風致の維持向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①地元団体や住民から構成されている「出羽三山魅力発信協議会」を開催した。(2回開催)
- ②地域住民ボランティアによる歴史的景観整備や賑わいづくりイベント等を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

①出羽三山魅力発信協議会

【第1回】

期日 平成29年6月26日(月)
 場所 手向地区地域活動センター
 内容 講演
 「門前町手向らしい景観と街並み整備について」
 東北公益文科大学大学院
 特任教授 高谷 時彦 氏
 協議会
 「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業について」
 「今後の進め方」



【第2回】

期日 平成30年3月20日(火)
 場所 手向地区地域活動センター
 内容 パネルディスカッション
 「魅力ある門前町手向地区のまちなみ景観整備の今後」
 協議会
 「手向門前町歴史まちづくり推進活動について」



②歴史的景観整備活動・賑わいづくりイベント等の実施

【歴史的景観整備活動－歴史的建造物の黒塀塗り作業】

期日 平成29年9月23日(土)
 場所 手向池ノ仲地内(自坊小路)
 内容 地区住民ボランティアによる板塀の塗替え作業を実施。活動を通じて、歴史まちづくり活動に対する住民意識の高揚を図った。



【歴史的景観整備活動－手向古道の復元】

期日 平成29年6月1日～平成30年3月31日
 場所 手向地内
 内容 かつて参拝道として使われていたという古道を復元させ、魅力ある新たな散策コースとして活用することを目的に実施。歴史的資産の掘り起しに繋がる。



【賑わいづくりイベントの実施－三山詣り手向里宮御朱印巡り】

期日 平成29年10月9日(月・祝)
 場所 手向地内里宮及び羽黒山
 内容 市民や県内外から約40名が参加して、門前町手向地区や出羽三山の歴史を学びながら、同地区の里宮をめぐる。



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業 【羽黒手向地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 宿坊街における沿道部分の外構空間等は歴史的風致の保全に重要な景観形成要素である。修景を行うことで統一感のある良好な景観が形成され歴史的風致の維持及び向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を創設。本補助金を活用して6件の修景整備が行われた。
- ②上記補助金の審査・相談機関として「手向まちなみ委員会」を組織し、相談会・審査検討会・現地調査を行った。
- ③まち並み保全に関する先進地視察を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

①「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用した修景整備

- 上長屋集落 2件(商店、住宅)
…外観整備及び模様替え
- 桜小路集落 3件(宿坊2件、住宅1件)
…外観修繕及び模様替え、宿坊看板等設置替え
- 池ノ仲集落 1件(住宅)
…外構(門・塀)修繕

修景整備事案1



②「手向まちなみ委員会」の開催

期日 平成29年7月11日(火)・24日(月)・25日(火)、9月11日(月)、11月21日(火)、平成30年2月19日(月)
内容 委嘱状の交付、申請内容等の審査・検討、相談会の開催、現地調査



修景整備事案2



③まちなみ保全先進地視察研修

期日 平成29年6月21日(水)～22日(木) 場所 秋田県横手市増田地区
内容 横手市増田重要伝統建造物群保存地区の歴史的建造物を活用したまちづくり活動の取組や、独自の観光案内制度「観光エキスパート」事業の取組について学んだ



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
宿坊街道路・空き地修景整備事業 【羽黒手向地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 宿坊街の建築景観と統一感のある良好な景観が形成され、歴史的風致の維持向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市道手向5号線電柱移転工事の実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

市道手向5号線 電柱移転工事の実施

場所 市道手向5号線(手向池ノ仲集落 通称「自坊小路」)
 内容 風情ある小路の景観に支障をきたしていた電柱を移転。
 平成29年9月5日(火)東北電力担当者との打合せ、9月13日(水)土地所有者を加え現地確認及び打合せ
 9月25日(月)～11月30日(木)電柱移転工事



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業 【羽黒松ヶ岡地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成10年度～平成34年度

支援事業名 歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業費国庫補助事業

計画に記載している内容 「史跡松ヶ岡開墾場保存管理計画」に基づき、平成10年度から年次的に行っている蚕室等の保存修理や防災設備工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成10年度から、史跡内建造物の保存修理工事を実施している。平成26年度は、3番蚕室の経年劣化した雨戸や内部建具、屋根、外構等の修繕工事を行った。平成27年度は、本陣にパンザマスト式避雷設備を、2番蚕室の3階屋根補修と棟上銅帯式避雷設備を設置した。平成28年度は、3番蚕室の3階屋根補修と棟上銅帯式避雷設備を設置した。平成29年度は1番蚕室において3階屋根補修と棟上銅帯式避雷設備の設置を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

平成30年度に避雷設備が未設置の蚕室2棟の屋根修繕と避雷針設備設置を計画していたが、国庫補助事業補助金の関係で、1～2年事業が延期となる可能性がある。

状況を示す写真や資料等



一番蚕室外景(施工前)



一番蚕室3階屋根(施工前)



一番蚕室外観(施工中)



一番蚕室3階屋根(施工中)



一番蚕室外観・避雷設備
(施工後)



一番蚕室3階屋根・避雷針設備(施工後)

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
松ヶ岡振興支援事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

【羽黒松ヶ岡地区】 松ヶ岡地域では明治初期に行われた開墾当時の形態を継続し、施設や開墾当初の趣旨目的、実践の多くの部分が今も守られている。これらを背景としたビジョンを策定し、将来的にソフト活用と連動して史跡内建造物が有効活用されることにより、歴史的風致の維持向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度に松ヶ岡住民及び事業者が中心になって策定した「松ヶ岡地域振興ビジョン」などの具体的なソフト事業として、お茶づくりをはじめとした各種体験事業や収穫感謝祭、雪灯籠まつりなどのイベントを実施し、魅力の発信に取り組んだ。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○イベントの開催

- ・松ヶ岡桜まつり(4月20～22日) 1,500人
- ・松ヶ岡お茶づくりイベント(5月27日、28日) 64人
- ・烏龍茶作り体験(7月21～23日) 63人
- ・梅酒づくり体験(6月11日) 15人

- ・じぐちあんどん夏祭り(7月29日、30日) 1,000人
- ・松ヶ岡秋の収穫祭(10月29日) 1,500人
- ・雪灯籠まつり、新酒を楽しむ会(2月17日) 75人
- ・大蚕室ライトアップ(2月4日～12日)



桜まつり



お茶づくり



じぐちあんどん夏祭り



秋の収穫祭



新酒を楽しむ会



大蚕室ライトアップ

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
史跡内及び周辺修景整備事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～平成34年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

【羽黒松ヶ岡地区】 史跡内外の修景整備するとともに、歴史的景観に配慮した看板・誘導案内板、散策途中での休憩や各種催事のための多目的広場やトイレ等を整備する

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度事業については、28年度に策定した松ヶ岡開墾場景観検討資料に基づき史跡北東側にある北広場駐車場の整備に向けての実施設計を行った。30年3月から駐車場(駐車台数54台)及び隣接する歩道の整備を着手することとしている。

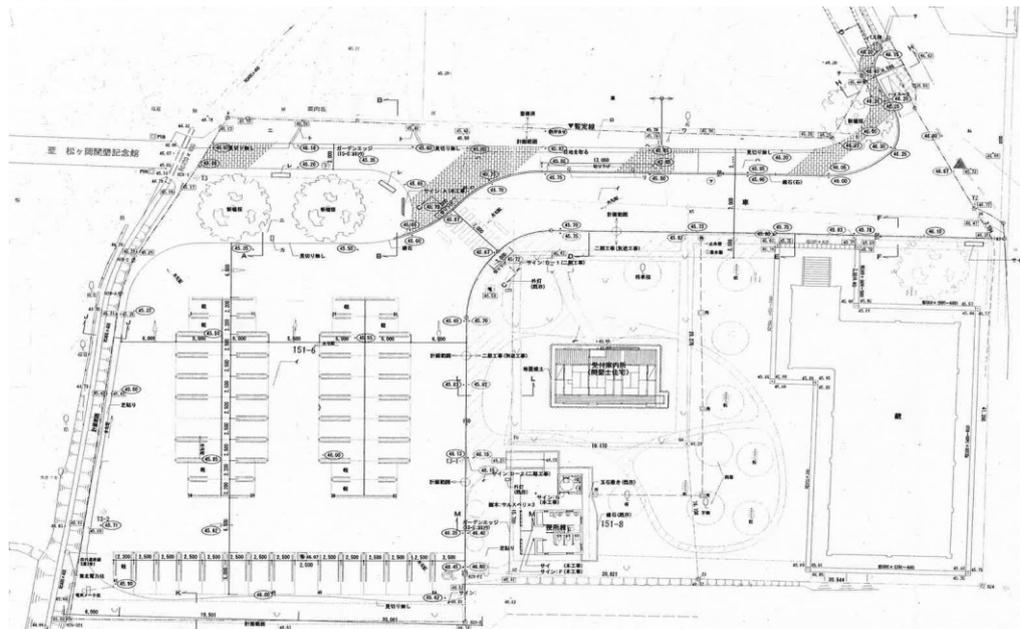
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



北側駐車場



北広場駐車場及び歩道整備計画図面

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
蚕室群活用整備事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

【羽黒松ヶ岡地区】 蚕室内を松ヶ岡開墾や絹産業の歴史等に関わる講演会や展示会などができる多目的スペースとして、年間を通じてイベント活用ができる整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度に史跡内建造物の確実な保存・伝承のために、史跡の一部財産を取得した。29年度は暫定的に二番蚕室のトイレ等を開放し休憩所として活用するとともに、休日は飲食提供などにより誘客を図った。
また、保存活用のための躯体などの改修や蚕室群活用、管理運営組織体制などについての計画を策定するにあたり、策定委員会等を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



史跡松ヶ岡開墾場大蚕室群の取得



保存活用策定委員会(12月14日)



二番蚕室のイベント活用(10月30日収穫感謝祭)



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
シルクタウンプロジェクト推進事業 【鶴岡市内】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成23年度～
支援事業名	市単独事業

【羽黒松ヶ岡地区】	国内唯一の絹の地域内一貫生産がある本市において、絹産業や絹文化の歴史を発信することにより、文化的価値の継承につながり歴史的風致の維持向上が図られる。
-----------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の近代化の礎となった絹織産業の文化を後世に保存継承しながら、絹の新たな文化価値を創造することで地域の持続的振興・発展を図る「シルク文化創造都市」を目指すために様々な事業を実施した。
 ○飼育体験の実施
 ○シルクガールズ・プロジェクト支援
 ○地域資源活用研究開発事業(鶴岡シルク産業振興事業)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

幼・保育園、小中学校などの施設を中心に蚕の飼育体験・布の製作を行い、地域の絹文化の啓発をおこなった。
 29年度:48施設 24名の個人 松ヶ岡開墾場内 合計15,000頭(このほかに 晩秋蚕7,000頭)
 昨年繭人等の飼育による繭の糸が、新文化会館緞帳の一部として活用され、お披露目された。



小学生の飼育体験



開墾場蚕室での蚕飼育



市民の工場見学(緞帳製作)
オリエンタルカーペット

○シルクガールズプロジェクト支援



シルクツアー



コレクション(マリカ市民ホール)(平成29年11月23日)



全国メロンサミット参加



庄内空港展示(30年3月26日～4月2日)

鶴岡シルクをテーマに学習を行う「シルクプロジェクト」を立ちあげ、鶴岡シルクの伝統を守り新たな創造を提案する活動を実践している鶴岡中央高校に対して支援するとともに、連携して事業を実施した。

○地域資源活用研究開発事業(鶴岡シルク産業振興事業)

- ・ブランド化推進・産地高度化事業:著名なプロデューサーやデザイナーの協力を得ながら「kibiso」ブランド確立
- ・産学官連携事業:域内同業者や異業種事業者との連携による新商品開発
- ・販売促進事業:東京高島屋などの百貨店や地元イベントでの催事
- ・観光連携事業:観光客向け記念品の作成、地元旅館への試作品提供などの実施

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
民俗芸能保存伝承支援事業 【鶴岡市内】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成18年度～平成34年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業

計画に記載している内容
 無形民俗文化財民俗芸能に関する支援を実施する。
 ・無形民俗文化財保存団体の活動助成及び継承に必要な衣装や道具の更新等に関する費用等の各種助成制度の情報提供など必要な支援を行う。
 ・過去に作成した無形民俗文化財のアナログ記録映像のデジタル化と、未記録の無形民俗文化財について新たな記録保存を行う。
 ・無形民俗文化財保存団体のネットワーク構築や発表機会創出等の検討及び開催支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・例年、藤島伝統芸能振興会、高寺八講保存会、町屋神楽保存会、黒川能保存会、山五十川古典芸能保存会、木野俣獅子踊り保存会、小国八幡宮弓射神事保存会に対し、補助金交付要綱に基づき補助対象経費の2分の1の額(上限額あり)を交付した。
- ・市内の無形民俗文化財保存団体を対象に丸高文化財団等の情報提供を行った(平成26年度は6件、平成27年度は6件、平成28年は7件、平成29年度は7件)。
- ・民俗芸能の発表機会の情報提供を行い、1団体(藤島児童館和太鼓教室)が新たな発表機会を得た。
- ・平成29年度全国民俗芸能保存振興市町村連盟総会を鶴岡市会場に開催した。
- ・民俗芸能支援事業(助成金)の情報提供を行い1団体(六所神社獅子舞保存会)が採択され助成金の交付を受けた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



助成対象の「高寺八講保存会」



助成対象の「木野俣獅子踊り保存会」



平成29年度全国民俗芸能保存振興市町村連盟総会
(会場: 王祇会館)



助成対象の団体 発行チラシ

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況
	歴史まちづくり人材育成事業 【鶴岡公園とその周辺地区・羽黒手向地区・羽黒松ヶ岡地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業
社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の所有者・管理者、鶴岡市ガイドボランティア及び市民等を対象とした、文化財や歴史及び歴史的景観等とその活かし方等に関する学習機会を創出し実施する。
また、歴史的建造物の保全・活用推進を索引していく人材の発掘や育成、歴史的資源の利活用のマネジメントのための学習機会の創出等について関係者を交えた検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・鶴岡公園とその周辺地区 歴まちmeeting 日時 平成29年5月13日(土)(中止)
平成26年度にワークショップに参加した市民が中心となり、歴史的建造物の存在を広く市民に周知し、保存と活用を考えるイベントとしてこれまでに計3回実施。今年度は「旧鶴岡ホテル」を会場として、藤の花を觀賞しながらの昼食会と落語の公演会を開催する予定であったが、参加者不足により中止となった。しかし、来年度も「旧鶴岡ホテル」を会場に活動を行う予定である。

・羽黒手向地区 ボランティアガイド研修会 日時 平成29年9月7日(木)
手向地区自治振興会会長・勝木正人氏を講師に迎え、参加者は小路や文化財等をめぐりながら出羽三山の門前町手向地区や宿坊街の歴史を学んだ。

・羽黒松ヶ岡地区 松ヶ岡本陣留守居役 配置期間 4月27日～10月31日
「本陣」の一般開放に際して、8名のボランティアを「留守居役」として任命し、来場者が4月27日～10月31日の間に866名に及ぶなど歴史的建造物の公開の取組みが進められた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【鶴岡公園とその周辺地区】



【羽黒手向地区】
平成29年9月7日(木)
ボランティアガイド研修会

「日本の犬舎。松ヶ岡陣場」
「本陣留守居役」犬募集

ご応募の締切 3月20日(金)

本陣は、明治5年8月(明治10年)に、鶴岡市鶴岡にあった藩主(月長)の邸の休館所(御茶屋)を移築した建物を、集会所兼事務所として復興の目標とした茅葺き建物の復興(400年の建物で、現在も地域の公認として残っています)。この復興に、松ヶ岡陣場、ご家族の皆さまが協力して一丸となり、四季折々の風景を大衆から楽しんでいただくことを目指してあります。

つぎましては、下記期間の本陣・御茶屋のボランティアを「本陣留守居役」(個人名を呼ぶ)の名称で広く募集いたします。ご協力いただけるボランティアの人数にもよりますが、1週間1回程度お訪ね願えば、松ヶ岡に足を運ぶくださった観光客の増加に貢献していただける「おもてなし」が出来ると思います。

勤務場所：松ヶ岡陣場 本陣 (鶴岡市羽黒松ヶ岡) 御茶屋
勤務期間：2019年4月11日(土)～11月14日(土)
勤務時間：9:00～16:30
募集人員：10名前後
通勤費：支給

問い合わせ先 松ヶ岡陣場 0235-64-1331 担当/御野

【羽黒松ヶ岡地区】
「本陣留守居役」募集のチラシ

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業 【鶴岡市内】			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～平成34年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	鶴岡市の歴史まちづくりに関する講演とシンポジウム、重点区域のまち歩き等を組み合わせた事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年11月に「鶴岡市歴史的風致維持向上計画」が国の認定を受けたことを記念し、今後、市民と協同で歴史まちづくりを推進するため、3つの重点区域持ち回りで毎年シンポジウムを開催することとしている。 29年度は平成29年11月3日(金・祝)に「つるおか歴まちday～鶴岡市歴史まちづくりシンポジウム×羽黒山歴史探訪～」として、重点区域の羽黒手向地区を会場にシンポジウムとまち歩きイベントを開催した。 ◆つるおか歴まちday まちあるきイベント「羽黒山歴史探訪～門前町手向を歩く～」 講師／渡部幸氏(出羽三山歴史博物館学芸員) 参加人数／25名 第5回鶴岡市歴史まちづくりシンポジウム 基調講演「地域の誇りを後世に伝えるために」 講師／舟引敏明氏(宮城大学事業構想学群教授) パネルディスカッション 「鶴岡市歴史的風致維持向上計画重点区域の取り組み～今後の歴史まちづくりへかける思い～」 コーディネーター／高谷時彦氏(東北公益文科大学大学院 特任教授) パネリスト／本間貢氏(NPO法人城下町トラスト)、清野忠氏(松ヶ岡産業(株)企画部長)、 勝木正人氏(出羽三山魅力発信協議会会長)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

①第5回鶴岡市歴史まちづくりシンポジウムの様子



②羽黒山歴史探訪の様子



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存活用整備補助事業 【鶴岡公園とその周辺地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度 ~ 平成34年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物について公開による保存活用を図るために所有者が行う外観修景、内装整備等の事業について補助を行う。		
<p>平成29年度は、風間家旧別邸無量光苑釈迦堂修理・修景事業に対する補助を行った。 修景事業の内容としては、鶴岡市歴史的風致形成建造物保存活用整備事業補助金交付要綱4補助対象事業のうち、「建造物の公開部分の保存又は復原のための修理・修景工事」に該当し、傷みの激しい主屋の土縁の屋根及び北門、西側板塀、中門の修理・修景を行った。</p>			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

補助事例

平成28年度：
旧小池薬局エビスヤビル
平成29年度：



北門



無量光苑釈迦堂



西側板塀

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
重要文化財旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟(建造物)防災施設等整備事業 【鶴岡公園とその周辺地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～平成30年度

支援事業名 重要文化財(建造物・美術工芸品)修理、防災事業費国庫補助

計画に記載している内容 経年劣化している消火設備の更新及び改修(一部新設)、自動火災報知設備の更新及び新設、避雷針設備の改修、監視設備の新設。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度は致道博物館敷地内のパンザマスト式避雷針設備の改修及び、自動火災報知設備の交換を実施している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



パンザマスト式避雷針
基礎部分の補強と塗装



旧渋谷家住宅 自動火災報知設備
差動分布型感知器の交換

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
		現在の状況
文化財の保存・活用の現状と今後の方針及び具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 所有者との連携をとり、保存活用計画を策定していない文化財については、その策定を検討しながら、適切な保存を行っていく。
 活用にあたっては、文化財保護法等の主旨を踏まえ、文化財としての価値を毀損することがないように配慮する。
 未指定のものについても、必要に応じて調査を行い、その価値が確認できたものについては、所有者との連携を図りながら、市の指定、もしくは国の登録制度を活用することを検討するなどし保存継承に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・保存活用計画の策定については名勝金峯山について、現地確認や古文書解析等を行うと共に、関係者懇談会や地元説明会、策定委員会を開催し、名勝金峯山の文化的価値を確認し、保存活用に向けての指針である計画書をまとめた。
 ・国指定史跡松ヶ岡開墾場については、史跡内構成物(構造物・樹木)の基礎調査を実施し、庁内ワーキングや策定委員会を開催し、計画内容について検討を行った。
 ・文化財の活用については史跡松ヶ岡開墾場で蚕室での養蚕を復活させ活用を図った。
 ・未指定文化財の現況調査では、松倉山馬頭観音堂(1件)について実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○保存活用計画の策定
 ・名勝金峯山保存活用計画策定委員会 3回(平成29年6月、10月、平成30年1月)
 ・名勝金峯山保存活用計画関係者懇談会 1回(平成29年8月)
 ・名勝金峯山保存活用計画地元説明会 2回(平成29年12月 湯田川会場6人 黄金会場22人)
 ・名勝金峯山保存活用計画現地確認 6回(吹越道場跡1回 石切場跡4回 参道東尾根筋1回)
 ・国史跡松ヶ岡開墾場保存・活用計画策定委員会 2回(平成29年12月、平成30年2月)



金峯山保存活用計画



吹越道場跡調査



松ヶ岡開墾場岡保存・活用計画策定委員会の様子

○文化財の活用



松ヶ岡開墾場3番蚕室の養蚕活用

○未指定文化財現況調



松倉山馬頭観音堂調査

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の修理(整備を含む)に関する方針及び具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

文化財の修理・修繕にあたっては所有者及び管理者等と連携し、適切な助言や必要な支援措置を検討しながら進める。
 指定文化財の保存修理にあたっては文化財の価値を毀損することのないよう過去の調査記録などの成果を活用するとともに、有識者、専門家より意見聴取を行い、それらの知見を踏まえた総合的な整備を図る。

① 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎
 地震や台風などの自然災害に加え、経年劣化により、建物自体が傾斜していることが目視できる状況にあり、全面的な解体保存修理を行う。

② 重要文化財羽黒山正善院黄金堂
 自動火災警報装置の耐用年数も過ぎており、部品の調達もできない状態になっているため改修を行う。また、貯水槽やポンプ等の防災設備も劣化しており、早急に保存修理を行う。

③ 史跡松ヶ岡開墾場
 平成10年度から実施している史跡の主要な建造物の保存修理を継続するとともに、避雷設備の設置を行う。

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事について、平成29年度は左官工事、建具工事、塗装工事を中心に進め、11月に素屋根と外部足場の解体が完了、12月には全ての工事が完了した。
 ・史跡松ヶ岡開墾場の保存修理事業として、1番蚕室の三階屋根全面葺き替えと棟上銅帯式避雷設備設置事業を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



旧鶴岡警察署庁舎外景(竣工)



庁舎内部(竣工)



松ヶ岡1番蚕室3階屋根葺き替え(竣工)



避雷設備設置(竣工)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針及び具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 所有者及び管理者と市が連携をとりながら、文化財の保存に努めるとともに、鶴岡の歴史的風致の維持向上のために文化財の公開に努めるなど啓蒙普及を図る。
 また、特に重点区域においては、文化財活用の事業を行うだけでなく、文化財の保存・活用のための案内板整備及び説明板や解説資料の充実も図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・所有者及び管理者と市が連携をとりながら、文化財の保存に努めるとともに、鶴岡の歴史的風致の維持向上のために文化財の公開に努めている。
 ・日本遺産認定を受け、羽黒手向地区内に案内板を設置したほか、史跡旧致道館等に英語併記の案内・説明看板を設置する等、解説資料の充実を図った。
 ・史跡旧致道館で論語の素読教室のほか文化教育芸術の発表の場として山形県高等学校総合文化祭市内大会百人一首かるた部門の実施等、文化財施設を活用した事業を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○重点区域で公開している指定文化財

- | | |
|---|---|
| <p>【鶴岡公園とその周辺地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要文化財旧渋谷家住宅 重要文化財旧西田川郡役所 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎 名勝酒井氏庭園 重要文化財旧風間家住宅 重要文化財カトリック教会天主堂 史跡旧致道館 市指定有形文化財大宝館 | <p>【羽黒手向地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要文化財羽黒山正善院黄金堂 <p>【羽黒松ヶ岡地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡松ヶ岡開墾場(本陣・蚕室) 市指定有形文化財松ヶ岡開墾士住宅 |
|---|---|



案内看板の設置(日本遺産 出羽三山)



県高文祭かるた部門の様子(史跡旧致道館)

○重点地区以外で公開している主な指定文化財

国宝五重塔、重要文化財金峯神社本殿、重要文化財羽黒山三神合祭殿、重要文化財水上八幡神社、県指定有形文化財旧遠藤家住宅、県指定有形文化財東田川郡役所及び郡会議事堂、県指定有形文化財大日坊仁王門、市指定有形文化財日向家住宅 等

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の周辺環境の保存に関する方針及び具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財の周辺環境は、多様な要素で構成されており、その変化は文化財に大きな影響を与えるため、都市計画法、景観法及び本市の関連条例による規制、制度の積極的な活用により、文化財の価値や魅力が大きく損なわれないように注意しその保全を図る。
 また、重点区域においては歴史的風致の維持及び向上を図るための周辺道路の高質質・美装化や無電線化などの整備事業や文化財を活用するための便益施設を整備する場合には、文化財及びその周囲の景観や環境との調和を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡旧致道館の保護柵が経年劣化していることから、基礎を残して撤去し、代わりに既存の樹種を活かしながら植樹による生垣の整備を行ったことで史跡の景観及び周辺環境の向上に繋がった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



鉄柵を撤去し植栽により生垣を整備(整備前・後)



隣接して新たに整備された文化会館とも調和がとれた史跡旧致道館構内

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
		現在の状況
文化財の防災等に関する方針及び具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財のうち建造物については、所有者及び管理者と連携して、消防法で義務化されている自動火災報知設備及び消火器具等の設置に努めるなど、火災被害の危険軽減を図る。さらに、広く防災意識を高揚するため、所有者、管理者、地域住民、消防署が一体となった防災訓練の実施に努めるとともに、特に重点地域については、防災設備の見直しを図り、設備の適正化を進める。
 また、指定文化財の耐震診断を推進し、文化財保存のための修理工事の際には、できるかぎり耐震補強工事も併せて実施するよう指導に努める。
 なお、近年は文化財の盗難も多いことから、文化財を展示公開している施設については、防犯に対処するために必要な措置を講ずるよう指導するとともに、常日頃からの防犯・防災への意識の高揚に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・文化財の防災等については、所有者及び管理者と連携して行っている。
- ・史跡松ヶ岡開墾場1番蚕室の三階屋根全面葺き替えと棟上銅帯式避雷設備設置事業を行った。
- ・重要文化財 旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事により耐震補強工事を実施した。
- ・重要文化財 旧鶴岡警察署庁舎、西田川郡役所及び渋谷家住宅等の防災設備整備について、今年度より国庫補助事業により事業開始となった。
- ・毎年文化財防火デーには、それぞれの文化財で、防火訓練を行っている。
- ・文化庁・県担当課等の指導により文化財の防犯対策の強化の依頼のためチラシによる周知を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○史跡松ヶ岡開墾場 避雷設備工事



一番蚕室3階屋根・避雷針設備(施工後)

○旧鶴岡警察署庁舎 耐震補強工事



1階小屋裏水平筋違補強状況

○旧鶴岡警察署庁舎他2施設 防災設備整備事業



重要文化財渋谷家住宅 パンザマスト式避雷針基礎部分の補強と塗装の実施

○文化財防火デー防災訓練



H30.1.22実施 鶴岡カトリック教会天主堂

○防犯対策啓発チラシ

文化財の所有者の皆様へ

文化財の防犯対策の強化のお願い

最近、文化財の汚損被害が相次いでいますので、次の対策をとるなど、防犯対策の強化をお願いいたします。

- ① 日頃から、文化財そのものの状態を把握するとともに、文化財の周辺の警備態勢に努めましょう。
- ② 文化財とその周辺の周知の周知を定期的に行いましょう。当時は、夜間の見回りや実施中見回りの回数を増やすなどの対策を行うとともに、見回りの際に「物許巡回中」などと表示した表紙を着用するなど警戒していることを示すようにしましょう。
- ③ 鍵や防犯カメラなどの設備を維持するとともに、既存の防犯設備の点検を行いましょう。また、防犯設備を設置していることを明らかにしましょう。
- ④ 敷地や建造物の出入口付近等に防犯に関する看板の設置をしたり、防犯訓練を行うなど更なる防犯対策を行いましょう。また、これらの防犯対策を行っていることも広報し、広く周知にアピールしましょう。
- ⑤ 犯人が同行をためらうことがありますので、持続攻撃に対しては勇気よく立ち向かいましょう。

H29.4.17付 所有者送付

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の保存・活用の普及及び啓発に関する方針及び具体的な計画			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	文化財の存在とその価値について広く理解を得るため、市と文化財所有者・管理者が連携して、文化財の公開に努め、誰もが文化財に気軽に親しむことができる機会を積極的に創出する。 さらに、文化財に関連する情報発信の手段として市の広報やホームページなど様々な方法を活用し、文化財の重要性や継承の意義などを広く周知し、その内容の充実を図ることによって、本市の体系的な文化財情報の発信に努める。 また、重点区域においては、民間団体とも協力して、普及啓発のための事業を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・名勝金峯山保存活用計画の策定あたり、現地調査や歴史資料調査を行い、策定委員会、関係者懇談会及び地元説明会を開催し、名勝金峯山の文化的価値の確認と保存活用方針を確認した。 ・森敦寄贈資料目録刊行記念事業として、講演会と文学散歩を開催し、ゆかりの地を巡り歴史と文化について触れる機会を創出した。 ・日本遺産として、平成29年度「サムライゆかりのシルク 日本近代化の原風景に出会うまち鶴岡へ」の指定を受け、記念講演会等を史跡松ヶ岡開墾場を会場に開催し広く発信した。 ・市のホームページを更新し指定文化財一覧や市で出版している文化財関係書籍の頒布案内を写真入りで掲載し、文化財普及啓発した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○名勝金峯山保存活用計画策定を通じた啓発活動



関係者懇談会開催 10/7



地元説明会開催 12/15 12/21

○関連する文化財を訪ねる
文学散歩



市指定有形建造物 日向家住宅 9/17

○史跡松ヶ岡開墾場で開催される日本遺産認定記念イベント



史跡松ヶ岡開墾場 二番蚕室 2/11

○文化財関係書籍の販売



文化財HP掲載更新

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成29年度																						
項目		現在の状況																							
埋蔵文化財の取り扱いに関する方針及び具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																							
計画に記載している内容	周知の埋蔵文化財包蔵地については、山形県と連携をとり、文化財保護法に基づきその現状の把握及び適切な保護措置に取り組む。 未発見の埋蔵文化財の保護にも万全を期すため、民間事業者の開発行為の事前把握に努め、事業者との事前協議を実施し、必要に応じて試掘等確認調査を行うなど、開発事業と文化財保護の整合に努める。また、公共事業の実施においては、埋蔵文化財について特段の配慮を行う。																								
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																									
・開発行為の事前把握に努め、事業者との事前協議を実施し、必要に応じて試掘等確認調査を行うなど、開発事業と文化財保護の整合に努めている。今年度は現地踏査2カ所、工事の際の立会い調査6カ所の対応を実施した。 ・埋蔵文化財の周知を行うため、隔年で発行している市内遺跡分布調査報告書(28年度調査分・29年度調査分)を刊行した。																									
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																								
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない																									
状況を示す写真や資料等																									
○平成29年度 市内遺跡分布調査 ・現地踏査実施箇所 2カ所 「峠野山館跡」「関川経塚」 ・立会調査実施箇所 6カ所 「天王原遺跡」「史跡旧致道館」「史跡松ヶ岡開墾場」 「山田遺跡」他 ・埋蔵文化財包蔵地に係る事業照会(※1/25現在) <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>公共事業</td> <td>12 件</td> </tr> <tr> <td> 内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 開発</td> <td>9 件</td> </tr> <tr> <td> 建築</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td>民間事業</td> <td>227 件</td> </tr> <tr> <td> 内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 開発</td> <td>36 件</td> </tr> <tr> <td> 建築</td> <td>140 件</td> </tr> <tr> <td> 評価</td> <td>46 件</td> </tr> <tr> <td> 岩石採取</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td> 産廃施設</td> <td>2 件</td> </tr> </table>		公共事業	12 件	内訳		開発	9 件	建築	3 件	民間事業	227 件	内訳		開発	36 件	建築	140 件	評価	46 件	岩石採取	3 件	産廃施設	2 件	 <p style="text-align: center;">史跡松ヶ岡開墾場工事立会い状況</p>  <p style="text-align: center;">山田遺跡工事立会い・土層断面観察</p>  <p style="text-align: center;">史跡致道館植栽植え込み立会い状況</p>	
公共事業	12 件																								
内訳																									
開発	9 件																								
建築	3 件																								
民間事業	227 件																								
内訳																									
開発	36 件																								
建築	140 件																								
評価	46 件																								
岩石採取	3 件																								
産廃施設	2 件																								

評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の保存・活用に関する教育委員会の体制と今後の方針		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 鶴岡市文化財保護審議会は、条例に規定する文化財の保存及び活用について教育委員会の諮問に応じて調査研究を行うなどし意見具申を行うものであり、建造物1名、工芸品1名、歴史資料1名、民俗文化財2名、考古資料1名、天然記念物2名、地域史5名の委員数13名で構成されている。
 また、文化財の適切な保存と活用を推進するため、市教育委員会社会教育課に文化財係を設けて、所属長の下に、文化財係員6名を配置している。地域に特色のある文化財については、地域庁舎総務企画課に担当者を配置し、その保存と活用の施策を検討する体制をとっている。
 今後も、文化財担当課だけでなく、都市計画課・政策推進課・観光物産課・地域振興課・商工課等の担当部署と連携をとりながら、文化財行政の推進に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・29年度は7月と1月に市文化財保護審議会開催し、文化財の保存活用に関する施策の進捗状況などを説明し意見を得た。
 ・社会教育課と地域の文化財の管理を担う庁舎総務企画課との全体会議を4月に実施したほか、11月に庁舎毎の意見交換の場を設置し情報を共有するとともに連携を図った。
 ・出羽三山、サムライシルクの2つの日本遺産認定を受け担当課の密な連携をはかるための庁内担当者会議等により関連事業の円滑な事業執行に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

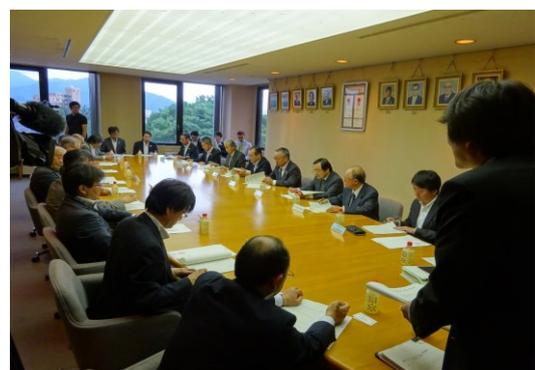
状況を示す写真や資料等

○文化財保護審議会開催
 第一回
 期 日 平成29年7月27日(木)
 内 容 市指定文化財の指定解除について
 文化財管理保存事業について
 歴史的建造物保存事業について
 金峯山保存活用計画について
 松ヶ岡開墾場について
 日本遺産の認定について(サムライゆかりのシルク)
 第二回
 期 日 平成30年1月26日(金)
 内 容 国登録文化財について
 文化財管理保存事業について
 歴史的建造物保存事業について
 金峯山保存活用計画について



第一回文化財保護審議会
 (於:鶴岡市職員研修会館)

○日本遺産関係
 ・出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会幹事会
 期 日 平成29年4月19日(水)・1月31日(水)
 内 容 報告:当該年度の補助金の採択額・協議会規約改正等
 協議:前年度の実績・今年度の事業計画等
 ・鶴岡「サムライゆかりのシルク」推進協議会設立総会
 期 日 平成29年6月22日(木)
 内 容 今年度日本遺産の日程を受け、規約の制定、
 委員・事業計画・予算案を検討



「サムライゆかりのシルク」推進協議会設立総会
 (於:鶴岡市役所本所庁議室)

評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
市民・NPO法人等各種団体の状況及び今後の体制整備の方針		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 様々な文化財に関わる団体の活動により、近年は、歴史的文化の重要性の再認識やその保護・活用に対する市民の関心は高まりつつあることから、今後は一層、これらの団体への情報提供に努めるとともに相互に連携し、市民の文化財の保存・活用への意識高揚を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・研修・講演・会報の発行などに取り組んでいる文化財愛護協会の活動を支援することで、市民の文化財愛護思想の啓発を推進した。平成29年度は、協会の活動のひとつである、地域愛護会の看板設置(1件)に補助した。
 ・文化財施設の管理運営をしている公益財団法人等と協力して、文化財の適切な保存活用を行っている。平成29年度は、新たに市指定有形文化財大室館を指定管理した。
 ・市のホームページに文化財関係支援一覧等を市HPを使いながら情報提供を行い、各団体と連携しながら補助金を活用し文化財の保存・活用事業を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○鶴岡市文化財愛護協会による文化財講演会の開催
 実施日 平成29年5月17日
 内容 「金峯山・金峯神社の歴史」
 講師 金峯神社宮司 佐々木 孝善 氏
 参加人数 67名
 ※平成29年度に金峯山保存活用計画を策定(鶴岡市教育委員会)



文化財講演会の様子

○地域文化財愛護団体の活動への支援
 内容 地域文化財愛護団体による文化財説明看板の設置
 (掲載文化財等数 22件)



地域内の文化財説明看板

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成29年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
クラフト展にマルシェ 体験イベントも多彩に 23日まで鶴岡「松ヶ岡桜まつり」	H29.4.22	荘内日報	
行者スタイルで羽黒山を「生まれかわりの旅」体験	H29.4.28	荘内日報	
酒田・北前船 鶴岡・シルク 日本遺産に認定 出羽三山に続き県内3件	H29.4.29	山形新聞	
日本遺産に鶴岡と酒田 最北の絹産地 北前船寄港地	H29.4.29	読売新聞	
日本遺産「サムライゆかりのシルク」 認定記念”絹のまち”アピール	H29.5.4	荘内日報	
「少女少女古典素読教室20日開講」小中学生の参加を募集	H29.5.13	荘内日報	
鶴岡市「サムライゆかりのシルク」文化庁・日本遺産に認定	H29.5.15	鶴岡タイムス	
致道館の学風受け継ぐ 論語を大きな声で 少女少女古典素読教室開講	H29.5.23	荘内日報	
化けもの”お酌” 鶴岡天神祭メインパレード	H29.5.26	山形新聞	
天神祭「化けもの」繰り出す パレードや踊りフェスに大きな声援	H29.5.27	荘内日報	
保存活用計画改定へ 日本遺産認定の松ヶ岡開墾場で市	H29.6.21	荘内日報	
交流人口拡大地域活性化へ 11団体で推進協設立	H29.6.24	荘内日報	
暗闇に浮かぶ荘厳な姿 国宝羽黒山五重塔ライトアップ始まる	H29.7.17	荘内日報	
修行体験の山伏に人気 出羽三山「市松紋」の扇子	H29.7.29	荘内日報	
城下町のシンボル・市民の憩いの場「鶴岡公園」 大手門再建やカフェ開設	H29.8.6	荘内日報	
国指定重要文化財「旧鶴岡警察署庁舎」創建当時の水色に	H29.8.9	荘内日報	
「入部行列」を再現 荘内大祭宵祭 甲冑武者など厳かに	H29.8.17	荘内日報	
創建当時の姿に復元 旧鶴岡署庁舎の保存修理 完成後 ぜび足を運んで	H29.8.23	山形新聞	
「擬死再生」149人が荒行 出羽三山神社「秋の峰」始まる	H29.8.27	荘内日報	
出羽三山神社「八朔祭」修行者が勇壮に火祭り 「秋の峰」締めくる	H29.9.2	荘内日報	
藩校教育今に 精神と文化見つめ直す「孔子祭」と「致道館の日」式典	H29.9.20	荘内日報	
鶴岡・手向 宿坊街の風情よみがえった 地元住民、民家の壁を塗装	H29.9.26	山形新聞	
門前町の歴史的景観維持へ 民家の黒塀塗り直し 手向地区で住民やボランティア	H29.9.28	荘内日報	
2446段一気に駆ける 羽黒山石段マラソン全国大会熱く	H29.10.24	荘内日報	
歴史的な建造物、町並み保存へ 14項目の要望書提出 鶴岡市で歴史的景観都市協議会	H29.11.3	荘内日報	
鶴岡の歴史まちづくり推進へ 歴史的風致維持向上計画重点地区住民が活動成果、課題発表	H29.11.5	荘内日報	
山里にほら貝の音 松の勸進始まる	H29.11.16	荘内日報	
宿坊街再生へ6軒改修 黒壁や格子窓 景観整備	H29.12.19	読売新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の歴史的風致について広く報道されている。本市で開催された歴史的景観都市協議会全国大会や市主催シンポジウムに関する記事も見られ、これらを通して市民の間で歴史まちづくりが進展していることに関して関心が喚起されていると考えられる。市民による歴史的な景観保全活動に関する記事も見られ、また、日本遺産に登録された「松ヶ岡開墾場」や「サムライゆかりのシルク」に関する記事も多く見られた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



黒塀の塗装作業の様子



歴史的景観都市協議会 現地視察の様子



評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 平成29年度

項目

歴史的風致維持向上計画事業実施の効果

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

【鶴岡公園とその周辺地区】

歴まちmeetingは、平成26年度にワークショップに参加した市民が中心となり、歴史的建造物の存在を広く市民に周知し、保存と利活用を考えるイベントとしてこれまでに計3回実施。今年度は「旧鶴岡ホテル」を会場として、藤の花を觀賞しながらの昼食会と落語の公演会を開催する予定であったが、参加者不足により中止となった。しかし、来年度も「旧鶴岡ホテル」を会場に活動を行う予定である。

【羽黒手向地区】

平成25年11月に「鶴岡市歴史的風致維持向上計画」が国の認定を受け、重点区域の一つとなった手向地区では、地区住民が主体となった各種歴史まちづくり活動が行われている。地区住民ボランティアによる歴史的景観整備活動「歴史的建造物の黒塀塗り作業」や歴史や伝統文化をテーマにしたまち歩きイベント「三山詣り手向里宮御朱印巡り」などにより、景観保全や修景整備に対する誇りや意識の高揚、またかけがえのない歴史的資産の再認識と活かし方等に関する学習機会の創出に繋がった。

【羽黒松ヶ岡地区】

五番蚕室脇の空き地を多目的交流公園広場や多機能トイレの整備の観光エリア内の整備により、交流人口が拡大され、松ヶ岡地域の振興や活性化に寄与した。

標記事業をはじめとした事業のこれまでの実施などにより、松ヶ岡開墾場をきっかけとする「サムライゆかりのシルク」のストーリーが29年度に日本遺産に認定された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

【日本遺産の認定】
平成29年4月28日



歴史的建造物の黒塀塗り作業



三山詣り手向里宮御朱印巡り



【羽黒松ヶ岡地区】
「本陣留守居役」募集のチラシ



旧鶴岡ホテル

評価軸⑥-2
その他

評価対象年度 平成29年度

項目

歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市内の学生・町内会等への歴史景観づくりの説明、他自治体からの視察対応、歴史的風致維持向上計画関連会議・サミット等への参加と計画内容説明により、計画の周知を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

- H29. 6. 2 国土交通省都市局
国土交通省都市局公園緑地・景観課、国土交通省東北地方整備局建政部視察
対象者：国土交通大臣官房審議官、国土交通省都市局公園緑地・景観課
国土交通省東北地方整備局建政部 3名
- H29. 7. 28 石川県加賀市議会視察
対象者：加賀市議 5名
- H29. 8. 30 歴史的景観都市協議会幹事会現地視察
対象者：歴史的景観都市協議会幹事都市 15名
- H29. 10. 12 国土交通省都市局公園緑地・景観課視察
対象者：国土交通省都市局公園緑地・景観課
国土交通省北陸地方整備局、国土交通省東北地方整備局 5名
- H29. 11. 2 歴史的景観都市協議会全国大会現地視察
対象者：文化庁、農林水産省、国土交通省、歴史的景観都市協議会関係団体
歴史的景観都市協議会総会講師、参加都市 92名
【公園周辺コース】51名
【羽黒コース】41名



平成29年11月2日
歴史的景観都市協議会全国大会
現地視察の様子

